



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月1日

上場会社名 株式会社IMAGICA GROUP 上場取引所 東  
 コード番号 6879 URL <https://www.imagicagroup.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 布施 信夫  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 森田 正和 (TEL) 03-5777-6295  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月1日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	23,797	19.8	345	27.2	394	28.9	305	474.5
2023年3月期第1四半期	19,861	28.9	271	—	306	—	53	△89.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 631百万円(△14.7%) 2023年3月期第1四半期 740百万円(△43.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	6.86	—
2023年3月期第1四半期	1.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	76,297	38,852	47.0
2023年3月期	81,888	40,303	44.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 35,860百万円 2023年3月期 36,106百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	6.2	4,000	3.4	3,500	△3.8	2,200	△43.1	49.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	44,741,467株	2023年3月期	44,741,467株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	156,042株	2023年3月期	156,042株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	44,585,425株	2023年3月期1Q	44,395,529株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①当第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類」に移行し、社会経済活動の緩やかな回復が見え始めた一方で、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは2021年度に策定した中期経営計画「G-EST2025」(ジーエスト2025)の3年目を迎えるにあたり、2025年度に目指す姿「高収益体質のグループ」を実現するためには「収益力の向上」が重要課題であると改めて認識し、4つの基本戦略の方針を見直すとともに「ゲーム関連事業の拡大」を新たな戦略に加えしました。2023年度においては「基盤確立から成長路線へ舵をとる年」を方針とし、2025年度において、売上高1,100億円、のれん等償却前営業利益率8%、EBITDA110億円の実現に向けて、様々な施策に取り組んでまいります。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は237億97百万円(前年同四半期比19.8%増)、営業利益は3億45百万円(前年同四半期比27.2%増)、経常利益は3億94百万円(前年同四半期比28.9%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、特別損失が減少したこと、及び特別利益が増加したことにより3億5百万円(前年同四半期比474.5%増)となりました。

#### ②セグメント別の業績

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を従来の「映像制作サービス事業」から「映像制作技術サービス事業」へ変更しております。当該変更はセグメント名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

##### 1)映像コンテンツ事業

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は71億66百万円(前年同四半期比72.7%増)、営業利益は49百万円(前年同四半期は営業損失1億93百万円)となりました。

劇場映画・ドラマ作品は、5月26日公開の映画「岸辺露伴 ルーヴルへ行く」、8月3日より世界独占配信予定のNetflix映画「ゾン100～ゾンビになるまでにしたい100のこと～」等、劇場映画や動画配信事業者向けの大型作品を計上したことから大幅な増収となりました。アニメーション作品は、テレビシリーズの受注が順調なことにより増収となりました。出版事業においては、ライトノベル「薬屋のひとりごと」最新刊の販売が、テレビアニメ化決定の反響もあり見込み以上に好調なことなどから増収となりました。一方、CM制作については受注が低調に推移し減収となりました。

これらの結果、映像コンテンツ事業全体は増収増益となりました。

##### 2)映像制作技術サービス事業

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は132億円(前年同四半期比10.4%増)、営業利益は3億21百万円(前年同四半期比9.6%減)となりました。

国内のE2Eサービス<sup>\*1</sup>においては、デジタルシネマ向けのサービスが堅調に推移し、売上は前年と同水準を維持しました。

海外のE2Eサービス<sup>\*1</sup>においては、劇場公開作品の増加に伴い、デジタルシネマ向けサービスや予告編制作サービスが伸長したことで増収となりました。

ゲーム関連事業<sup>\*2</sup>においては、ゲームの3DCG制作及びデバッグ等の受注が堅調に推移し増収となりました。

一方で、TV向けポストプロダクションサービスにおいては、TVCM向けの受注が低調に推移し減収となりました。

これらの結果、E2Eサービスは増収増益であるものの、TVCM向けポストプロダクションサービスの減収減益が大きく、映像制作技術サービス事業全体は増収減益となりました。

※1：E2Eサービス：End to End。映画・ドラマ・アニメーション等の映像コンテンツを制作するポストプロダクションから、それらを劇場、テレビ、インターネットを介した動画配信などあらゆるメディアで流通させるために必要なローカライズ(吹替、字幕制作)、ディストリビューション(流通)のためのメディアサービスまでをワン

ストップで提供するサービスの総称。なお、海外のE2Eサービスの業績につきましては、決算日が12月31日であるため、当第1四半期連結累計期間には2023年1月1日～2023年3月31日の実績を反映しております。

※2：ゲーム関連事業：2D/3DCG制作、デバッグ・ソフトウェアテスト、ゲーム人材派遣・紹介等。

### 3)映像システム事業

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は38億83百万円(前年同四半期比8.1%減)、営業利益は2億56百万円(前年同四半期比21.2%減)となりました。

ハイスピードカメラは、半導体不足の影響が解消され生産が回復し、かつ受注が好調に推移したことにより増収となりました。一方、放送映像システムは、前年の大型案件の計上による反動もあり減収となりました。光学計測事業は、光学素子において受注が見込みより落ち込んだことにより減収となりました。映像・画像処理LSIについては、世界的な市場環境の悪化により減収となりました。

これらの結果、映像システム事業全体は減収減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて51億53百万円(11.5%)減少し、398億17百万円となりました。

これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産、並びに現金及び預金が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4億37百万円(1.2%)減少し、364億80百万円となりました。

これは主に、建物及び構築物が増加した一方で、のれん及び建設仮勘定が減少したことによるものであります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて55億90百万円(6.8%)減少し、762億97百万円となりました。

### ②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて38億68百万円(11.6%)減少し、293億36百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金、並びに契約負債が減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2億70百万円(3.2%)減少し、81億8百万円となりました。

これは主に、長期借入金及びリース債務が減少したことによるものであります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて41億38百万円(10.0%)減少し、374億45百万円となりました。

### ③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて14億51百万円(3.6%)減少し、388億52百万円となりました。

これは主に、非支配株主持分が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年5月11日に公表した数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,813,769	6,534,501
受取手形、売掛金及び契約資産	21,937,480	17,478,746
棚卸資産	12,460,112	12,150,735
その他	2,868,953	3,758,418
貸倒引当金	△109,328	△104,829
流動資産合計	44,970,987	39,817,573
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,213,112	12,593,186
減価償却累計額	△7,584,337	△7,711,157
減損損失累計額	△619,501	△607,359
建物及び構築物(純額)	4,009,273	4,274,669
機械装置及び運搬具	6,210,738	6,252,271
減価償却累計額	△5,525,748	△5,545,184
減損損失累計額	△139,607	△139,391
機械装置及び運搬具(純額)	545,383	567,695
土地	921,363	921,363
リース資産	5,991,152	5,978,477
減価償却累計額	△871,877	△897,135
減損損失累計額	△121,127	△121,127
リース資産(純額)	4,998,147	4,960,214
建設仮勘定	1,711,600	1,443,652
その他	7,801,738	8,047,042
減価償却累計額	△5,377,680	△5,533,926
減損損失累計額	△135,685	△136,028
その他(純額)	2,288,372	2,377,087
有形固定資産合計	14,474,140	14,544,683
無形固定資産		
のれん	11,780,285	11,455,388
その他	2,460,007	2,423,180
無形固定資産合計	14,240,292	13,878,569
投資その他の資産		
投資有価証券	2,876,524	2,899,675
関係会社株式	514,042	494,657
敷金及び保証金	2,048,952	2,061,465
繰延税金資産	2,420,133	2,368,417
その他	490,206	387,124
貸倒引当金	△147,088	△154,435
投資その他の資産合計	8,202,771	8,056,904
固定資産合計	36,917,204	36,480,157
資産合計	81,888,191	76,297,730

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,133,738	5,666,818
短期借入金	6,432,680	5,687,826
リース債務	881,977	904,671
未払金	1,769,403	1,420,516
未払法人税等	1,172,785	596,452
契約負債	7,591,449	6,350,070
賞与引当金	1,281,691	671,619
受注損失引当金	1,100	1,600
訴訟損失引当金	630,660	683,865
資産除去債務	23,181	—
その他	6,286,605	7,353,551
流動負債合計	33,205,274	29,336,994
固定負債		
長期借入金	1,366,665	1,139,582
リース債務	4,498,102	4,423,404
長期未払金	252,767	273,657
繰延税金負債	196,598	199,149
退職給付に係る負債	1,241,071	1,249,260
資産除去債務	653,518	656,198
その他	170,257	167,074
固定負債合計	8,378,982	8,108,327
負債合計	41,584,257	37,445,321
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,306,002	3,306,002
資本剰余金	13,020,018	13,017,093
利益剰余金	16,982,736	16,619,236
自己株式	△158,530	△158,530
株主資本合計	33,150,226	32,783,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	713,553	882,196
繰延ヘッジ損益	20,740	38,389
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	2,237,081	2,171,100
退職給付に係る調整累計額	2,828	2,509
その他の包括利益累計額合計	2,956,270	3,076,263
非支配株主持分	4,197,436	2,992,342
純資産合計	40,303,934	38,852,408
負債純資産合計	81,888,191	76,297,730

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	19,861,611	23,797,342
売上原価	14,366,860	17,586,453
売上総利益	5,494,751	6,210,888
販売費及び一般管理費	5,223,393	5,865,674
営業利益	271,357	345,213
営業外収益		
受取利息	278	2,391
受取配当金	16,006	21,266
為替差益	85,038	170,071
その他	55,352	39,113
営業外収益合計	156,675	232,843
営業外費用		
支払利息	50,203	89,428
持分法による投資損失	4,649	2,370
投資事業組合管理費	—	42,438
その他	66,872	49,035
営業外費用合計	121,725	183,272
経常利益	306,307	394,784
特別利益		
固定資産売却益	2,923	93
投資有価証券売却益	—	280,984
移転補償金	138,685	—
特別利益合計	141,609	281,077
特別損失		
固定資産除却損	1,640	1,277
割増退職金	170,228	—
その他	47,685	—
特別損失合計	219,554	1,277
税金等調整前四半期純利益	228,362	674,583
法人税等	145,385	161,553
四半期純利益	82,976	513,029
非支配株主に帰属する四半期純利益	29,746	207,244
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,230	305,784

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
四半期純利益	82,976	513,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,900	168,642
繰延ヘッジ損益	—	17,649
為替換算調整勘定	654,645	△67,861
退職給付に係る調整額	△377	△318
その他の包括利益合計	657,167	118,112
四半期包括利益	740,144	631,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	708,553	425,777
非支配株主に係る四半期包括利益	31,591	205,364

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 技術サービス	映像 システム	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	4,145,021	11,648,297	4,060,900	19,854,219	7,391	19,861,611
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,672	307,413	164,138	476,224	△476,224	—
計	4,149,693	11,955,710	4,225,039	20,330,443	△468,832	19,861,611
セグメント利益又は 損失(△)	△193,668	355,187	325,674	487,192	△215,835	271,357

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△215,835千円は、当社に係る損益1,502,576千円及びセグメント間取引  
消去△1,718,411千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 技術サービス	映像 システム	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	7,151,041	12,918,776	3,725,318	23,795,136	2,205	23,797,342
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	15,772	281,228	158,188	455,189	△455,189	—
計	7,166,814	13,200,005	3,883,507	24,250,326	△452,984	23,797,342
セグメント利益	49,989	321,173	256,490	627,653	△282,439	345,213

(注) 1. セグメント利益の調整額△282,439千円は、当社に係る損益1,332,343千円及びセグメント間取引消去  
△1,614,783千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を従来の「映像制作サービス」から「映像制作技術サー  
ビス」へ変更しております。当該名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2023年6月27日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式取得に係る事項を決議し、自己株式の取得を下記の通り実施いたしました。

なお、下記「3. 取得の結果」に記載の取得をもちまして2023年6月27日の取締役会決議に基づく自己株式の取得は終了いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上を図るとともに、将来の機動的な資本戦略に備えるために自己株式を取得するものであります。

2. 取得の内容

- |                |  |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類  | 当社普通株式                                       |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 500,000株(上限)<br>(発行済株式数(自己株式を除く)に対する割合 1.1%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 400,000,000円(上限)                             |
| (4) 取得期間       | 2023年6月28日～2023年9月30日                        |
| (5) 取得方法       | 東京証券取引所における市場買付<br>(証券会社による取引一任方式)           |

3. 取得の結果

上記市場買付による取得の結果、2023年7月1日から2023年7月12日(約定ベース)までの間に、当社普通株式500,000株(取得価額339,978,600円)を取得いたしました。